

第8 主要事業の概要

令和2年度(2020年度)から中核市に移行し、これまで府保健所で行われてきた専門的・技術的拠点としての機能と、住民に身近な保健サービスの提供を一体的かつ効果的に展開し、総合的な保健サービスの提供を行うために、市保健所を設置した。

地域の公衆衛生の拠点施設として、きめ細やかな地域保健業務推進、医療の推進や公衆衛生の向上、また健康危機管理への迅速な対応等、地域の保健衛生の更なる推進のための業務に取り組んでいる。

1 保健所における新型コロナウイルス感染症対応業務

新型コロナウイルス感染症(以降、新型コロナという)に関する保健所の対応については、職員の増員や予算措置等の全庁的な支援を受け、保健所3室課が一丸となり、役割分担を行いながら対応した。

令和4年度(2022年度)当初は、第6波により保健所業務がさらにひっ迫した。そのため、第7波以降の感染拡大への対応に必要な体制の確保のため、更なる業務委託を行い、保健所機能の強化を図った。

(1) 新型コロナ対応件数

	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)※	令和4年度(2022年度)
相談件数(件)	24,288	28,909	34,172
PCR検査実施件数(件)	37,366	150,682	250,692
陽性者数(人)	1,551	27,122	106,905

令和4年9月26日以降は全数届出の見直しをしたため、医療機関からの報告数と大阪府陽性者登録センターの合計者数を計上。医療機関からの報告者数は吹田市民以外が吹田市内の医療機関で陽性になった人数を含む。また他市の医療機関で陽性となった吹田市民は含まず。

※ 令和3年度(2021年度)実績を修正(令和5年(2023年)6月)

(2) 新型コロナにおける入院勧告、就業制限等の状況

	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)
入院勧告書(件)	354	1,316	4,727
就業制限通知書(件)	1,505	5,674	-
療養証明書(件)	-	4,834	13,909

令和4年(2022年)1月31日から、就業制限通知書の発行を終了。

2月9日から希望者に療養証明書を発行。

4月27日から新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(以降、HER-SYSという)内のMY HER-SYS(陽性者本人で行う健康管理機能)により療養証明書の取得が可能となったため、市ホームページやSMS(ショートメッセージサービス)にて利用促進を図った。9月26日からの全数把握見直しに伴い、発生届の届出がなされている患者のうち希望者のみ発行または、取得の対象となった。